

新しい生活文化を発信する

アトム

主な記事

2~3面 1面続き
立川市リサイクルセンター訪問記／ペットボトルアンケート結果／インタビュー～中井八千代さん(容器包装の3Rを進める全国ネットワーク事務局)
4面 立川・この人／編集委員紹介／アトム・インフォメーション

9/25 NO.22

2008(平成20)年
年2回(9月・3月)発行

発行／立川市女性総合センター
企画・編集／市民編集委員
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2
☎042-528-6801 FAX042-528-6805
e-mail jouseisougou-c@city.tachikawa.lg.jp

気になります!!



ペットボトルのゆくえ



'95年に「容器包装リサイクル法」が施行されて、自治体や事業者がリサイクルが義務づけられて以来、一層私たちに身近になったペットボトル。しかし、本当にリサイクルされているの？税金はどのくらい使われているの？リサイクルすれば、使い放題でもいいの？など、ペットボトルの疑問を調べました。

大図解

ペットボトルリサイクル

1回の回収量
北地区:14~16t
(2t収集車33~45台分)
南地区:9~11t
(2t 27~33台分)

START!



2 クレーンで持ち上げてラインへ。破袋機で袋を取り除く



4 手作業でラベルやふたを取り除く



1m³の固まりに圧縮



1 収集車がピットに到着



3 袋もしっかり分別

中にはラベルやふたが取りきれないボトルも



引き取り・リサイクル・再商品化は事業者の役割



5 フォークリフトで倉庫へ

分別収集・保管までは市の役割

使ってつながるリサイクルの輪



GOAL!



PETボトル再利用品

見つけてみよう、このマーク!
(くわしくは3面に)



フレックで溶かして成型し、ペレットに

異物を取り除き、粉砕・洗浄を繰り返してフレ

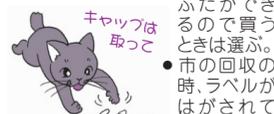


今年度の業者は、長野県飯田市

このかたまりが1回収集分で60~65個できる

ペットボトル わたしも一言

- リサイクルでCO2が減らされているが、疑問。
- 割高なのであまり利用したくないが、ふたができるので買うときは選ぶ。
- 市の回収の時、ラベルがはがされてないものが多い。ルールが守られていない。
- ラベルをはがすのがおっくうで、ついついプラごみと一緒に捨ててしまう。
- ペットボトル飲料はおいしくないの、マイボトルを愛用している。
- ペットボトル飲料は1本150円もする。毎日飲むと、1ヶ月4,500円もかかります。
- 便利ではあるがたままってしまうと邪魔。
- リサイクルがどんな状況になっているのか、詳しい知識を得たい。
- できれば可能な限りリサイクルまたは、リユースをする方向を目指せたら良いと思う。



キャップは取って
ラベルをはがす

- キャップが発展途上のワケチン代となるようなので、回収に参加している。
- リサイクルするのに、石油をたくさん使うと聞いた。
- 本当にリサイクルされているかも不安。
- 色々種類があり、とても使いやすくて重宝している。リサイクルについてもテレビや紙面などで情報を活かして知名度を上げるべき。
- 使い捨て時代の今、物を大切にすることを育てるべき。
- デポジットになればよいと思う。
- リサイクル品を使ってみたくが、身近に販売されているのを見かけず、また高価でもあったりしてまだ使用していない。
- つぶしリサイクルを探してみたいと思っている。
- 自動販売機を無くしてほしい。少なくともほしい。



キャップが発展途上のワケチン代となるようなので、回収に参加している。

リサイクルするのに、石油をたくさん使うと聞いた。

本当にリサイクルされているかも不安。

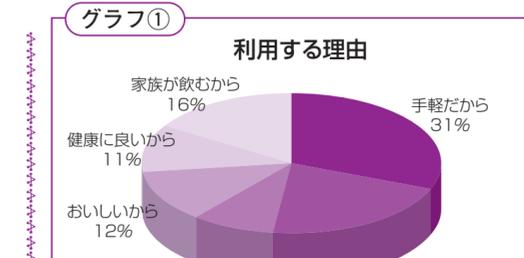
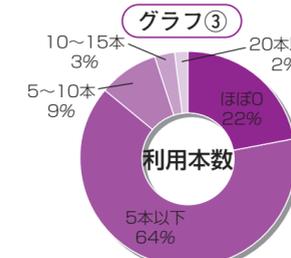
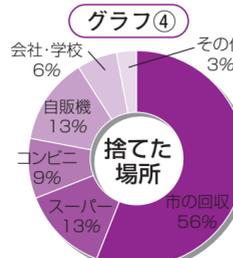
色々種類があり、とても使いやすくて重宝している。

リサイクル品を使ってみたくが、身近に販売されているのを見かけず、また高価でもあったりしてまだ使用していない。

つぶしリサイクルを探してみたいと思っている。

自動販売機を無くしてほしい。少なくともほしい。

ペットボトルはペット(PET:ポリエチレン・テレフタレートPolyEthylene Terephthalate)を素材とするボトル容器。軽く、フタがで、持ち運びに便利などの理由から、清涼飲料や調味料に広く使われています。このペットボトルの利用状況と排出状況も、アイム利用者を中心に148世帯に聞いてみました。(アンケート'08年6月実施)



利用する理由

ペットボトル飲料を利用する理由を複数回答で尋ねたところ、「手軽だから」「簡単に買えるから」という回答が合わせて半数を超えました。(グラフ①)

軽くて、じょうぶ、その上フタができるペットボトルは、飲料容器として、とてもすぐれています。数ある自動販売機やコンビニが、さらにペットボトルを身近なものにしていくのでしょうか。

飲料の種類別に見みると、家族のために、水やウーロン茶が買置きされている様子が見えます。また「おいしいから」「衛生的だから」という理由を上げている人もかなりいました。

とりわけ「おいしいから」という理由は若い世代に多く、構成員が50代以上の家庭では少ないという特徴が見られました。

若い人たちが「おいしい」と感じてペットボトル飲料を買っていることがわかります。

1週間のペットボトルの利用本数は、容量の多い少ないにかかわらず「ほぼ0」から「5本以下」で80%を超えました。(グラフ③)

特に、40代以下の夫婦のみと単身者の世帯では、15世帯のすべてが「5本以下」でした。また、驚いたのは家族が多ければ利用本数が増えるのは当然ですが、子どものいる家庭でも18%が「ほぼ0」で、「なるだけ買わないようにしている」や「水筒を持ち歩いている」といった環境に配慮した声が多く寄せられました。

家族のために、水やウーロン茶が買置きされている様子が見えます。また「おいしいから」「衛生的だから」という理由を上げている人もかなりいました。

とりわけ「おいしいから」という理由は若い世代に多く、構成員が50代以上の家庭では少ないという特徴が見られました。

若い人たちが「おいしい」と感じてペットボトル飲料を買っていることがわかります。

日本茶、ウーロン茶などの甘くない飲料で「手軽」と「簡単に買える」が強く支持されています。喉が渇いたときに、どこでも手に入る「ペットボトル入りのお茶」が重宝されているようです。

次に多かったのが「家族が飲むから」という理由。飲料の種類としては水が一番多く、日本茶・ウーロン茶・スポーツドリンクが続いていました。

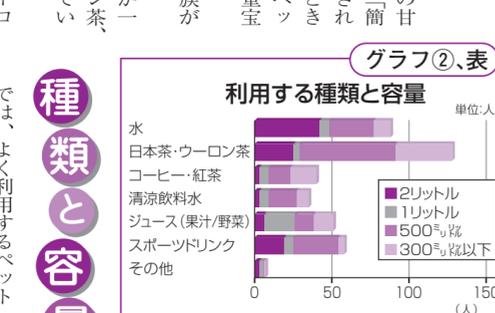
1週間の利用本数は80%が5本以下、処理は市の回収へ57%

今回はアイム利用者中心のアンケートでしたが、せいぜいあるかもしれませんが、子育て世代の環境意識の高さがかがわれます。しかし、近頃のゴミ集積所を見ると、実際にはもっと多くが利用されているようにも思われます。

使用済みペットボトルは、「市の回収」に出す人が57%、販売店や自動販売機の返却箱を利用する人は34%でした。ペットボトルの製造・販売者責任を促すには販売店に戻していくのが一番です。もっと店に返しましょう。(グラフ④)

今回のアンケートは、容量の多い少ないにかかわらず「ほぼ0」から「5本以下」で80%を超えました。(グラフ③)

特に、40代以下の夫婦のみと単身者の世帯では、15世帯のすべてが「5本以下」でした。また、驚いたのは家族が多ければ利用本数が増えるのは当然ですが、子どものいる家庭でも18%が「ほぼ0」で、「なるだけ買わないようにしている」や「水筒を持ち歩いている」といった環境に配慮した声が多く寄せられました。



今回はアイム利用者中心のアンケートでしたが、せいぜいあるかもしれませんが、子育て世代の環境意識の高さがかがわれます。しかし、近頃のゴミ集積所を見ると、実際にはもっと多くが利用されているようにも思われます。

使用済みペットボトルは、「市の回収」に出す人が57%、販売店や自動販売機の返却箱を利用する人は34%でした。ペットボトルの製造・販売者責任を促すには販売店に戻していくのが一番です。もっと店に返しましょう。(グラフ④)

強いジュースは1リットル入りのものを量販店で購入する傾向が際立っています。家族で飲みさるのに最適の大きさであること、また1リットル入りの商品が主体であることからくる傾向でしょうか。

同じ嗜好品でもコーヒー、紅茶は300ml以下を利用する人の割合が比較的多いようです。まだまだ缶入り感覚で、自動販売機で購入しているようです。利用者数自体も、お茶系に比べて、グリーンと少ないのも、缶入り主流のためかもしれません。

強いジュースは1リットル入りのものを量販店で購入する傾向が際立っています。家族で飲みさるのに最適の大きさであること、また1リットル入りの商品が主体であることからくる傾向でしょうか。

同じ嗜好品でもコーヒー、紅茶は300ml以下を利用する人の割合が比較的多いようです。まだまだ缶入り感覚で、自動販売機で購入しているようです。利用者数自体も、お茶系に比べて、グリーンと少ないのも、缶入り主流のためかもしれません。

行ってきました リサイクルセンター



すっかり身近になったペットボトル。回収された後、どうリサイクルされているかはあまり知られていません。そこで月に二度ある回収日に合わせて立川市のリサイクルセンターを取材してきました。

まず驚いたその量。一日の回収量は北地区、14、16、2、2、3、4、5、6、7、8、9、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31、32、33、34、35、36、37、38、39、40、41、42、43、44、45、46、47、48、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、61、62、63、64、65、66、67、68、69、70、71、72、73、74、75、76、77、78、79、80、81、82、83、84、85、86、87、88、89、90、91、92、93、94、95、96、97、98、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122本!

7人で手選別 あなたのボトルも点検されています

手選別というのは、すべてのペットボトルをベルトコンベヤーで流し、選別する工程です。キャップやラベルがついているものは手際よく一つひとつ取り外し、汚れているものは取り除きます。7人の作業員の手が、ベルトコンベヤーの上をすごい速度で行ったりきたりしています。

なぜこうした工程が必要かと言え、キャップがついていれば中に残った空気がよりのプレス加工で圧縮できず、また、ラベル付きや汚れているものは、リサイクル原料として事業者に取り取ってもら、

こうしてリサイクルされるペットボトルですが、「その回収とリサイクルには膨大なエネルギーと費用がかかっています。また、「廃棄物による環境悪化がポテトチップスのように、私達の健康にじわじわとダメージを与えている状態」とごみ対策課長の青木さんも危惧しています。たかがペットボトル、されどペットボトルなのです。

このマークを知っていますか?



製品が廃棄されたときに、分別収集して資源として再利用するときの目印となるマーク。「資源有効利用促進法」により、表示が義務づけられている。

PETボトルリサイクル推奨マーク

自治体等が回収したペットボトルのリサイクル品を25%以上原料として使っている商品につけることができるPETボトル協議会認証マーク。

| | | | | |
|---------|--------|----------|----------|---------------|
| ① スチール缶 | ② アルミ缶 | ③ ペットボトル | ④ 紙製容器包装 | ⑤ プラスチック製容器包装 |
|---------|--------|----------|----------|---------------|

消費者が払っている容器・包装の値段(中井さん提供H市資料)

| | | | | |
|--------|---------|---------------|------------|---------|
| 3円~4円 | 20円~70円 | 20円~30円 | 50円~70円 | 40円~60円 |
| (無地小型) | (利身用) | ペットボトル(500ml) | ペットボトル(2リ) | カップ類 |

ペットボトルのリサイクル費用9割以上が税金

そこで私たちは、ごみ処理とリサイクルに、自治体の税金がどのくらい使われているのか、品目ごとに明確にしようとして、'02年から4年間「廃棄物ワークシート(廃棄物会計)」を使って、全国の自治体にアンケート調査をしました。

その結果、容器リサイクル費用のうち、自治体の負担割合は86.6%('03事業年度)と、事業者に比べ圧倒的に高いことがわかりました。また、ペットボトルに関しては、回収、選別、保管にかかる自治体の費用が1リットルあたり200円であるのに対して、事業者のリサイクル費用はわずか20円にすぎません。

本来自らリサイクルの前に、まずごみの発生そのものを抑えるリデュース、再使用を促すリユースが考えられるべきなのに、事業者の負担があまりに小さいために、なかなか大量生産、大量廃棄の構造から抜け出せないのです。そしてその処理に、多額の税金が使われているわけです。また最近では経済発展や原油高を背景に、中国の業者が、自治体回収のペットボトルを直接高値で買い付けることも行われ出し、容リ法が規定したリサイクルシステム自体が揺らぎ始めてもいるのです。

あなたは買わねえ

では消費者はどうしたらよいのでしょうか。まずはごみとなるものを減らすことです。そのために、私たちが提唱しているのは、不用となった容器の再使用やリサイクル、適正な処理にかかる費用を、全額事業者が負担する「拡大生産者責任」の確立です。

そうならば、事業者はその費用を価格に上乗せし、事業者の責任で回収、リサイクルしなければならなりません。当然リサイクル費用にも敏感になり、材料の統一化、リターンアップの復活などを積極的に進めるようになるでしょう。ごみ発生自体が抑制されることにもなります。

また消費者も、レジ袋やトレイなど、ごみとなるものは買わない、もらわない、買わない物だけ再使用できる容器のものを選ぶ事で、現状を変えていくことができます。私たちが欲しいのは容器ではなく中身のものですから、大切な税金を、ごみ処理から他に回すことができるのです。

30年前はびん詰めが主流

飲み物は30年ぐらい前まではびん詰めが主流で、空きびんは店に返していました。集まったびんは事業者が回収し再利用したので、ごみも処理にかかる税金もごくわずかで済んでいました。

ところが80年代頃から、商品の容器が軽くて便利なプラスチックやビニール製に変わっていき、それに従ってごみは増大の一途をたどり、自治体はその処理に追われるようになり、ついに埋立て処分場にも限界が見えた時、ごみの大半を占める容器包装ごみの減量のために、飲料メーカーや容器製造事業者などに、リサイクル費用を負担させる「容器包装リサイクル法」(容リ法)が制定されたのです('95年)。この容リ法は、消費者がごみを分別し自治体が収集し、圧縮・保管したものをリサイクル業者に渡す、リサイクル業者はメーカーや容器製造業者の費用負担で、さまざまな製品に再生するという流れを作りました。

「廃棄物処理会計調査」に取り組んできた中井八千代さんにアイム・インタビュー

なかい やちよ 中井 八千代さん
容器包装の3Rを進める全国ネットワーク事務局 廃棄物学会学術研究委員会委員・環境カウンセラー

あなたが必要なのは 容器ですか? 中身ですか?

軽くて便利、人気のペットボトル飲料。容器の処理費用は? 品別に廃棄物の処理費用を調べてきた中井八千代さんに伺いました。

「ごみの発生抑制には、[拡大生産者責任]の確立が必要なんです」

この印刷物は再生紙を使用しています

立川・このト

五中で「環境教育講座」を仲間と開く —ゴーヤで緑のカーテンづくり



富永 文子(とみなが ふみこ)さん
立川市消費者団体連絡会副会長。地域消費生活講座の担当として、五中エコクラブを運営する。

●活動の内容は

「地域消費生活講座・ストッパ!温暖化 ぐらしの中に
ある環境問題に、中学生の視点から取り組み」(愛称「五中エコクラブ」と銘打って、ただ講義を聞くのではなく、調査や体験を通して、地球温暖

中学生とともに手さぐりで

化について考えてもらいたいとプログラムを工夫しました。たとえば4月は地元野菜でお好み焼き作り、5月はゴーヤで緑のカーテンを作ろうと、

地元の農業経営者クラブの方たちにご協力いただいた、苗の植え付け作業をし、6・7

月には「かさ布でマイバッグづくり」を予定しています。リサイクルセンターでかさ布

を分別して、洗い、バッグをつくったら楽しいかなと。ゴーヤのカーテンは、南側

校舎の機器管理室前に、1階部分を覆うほどのネットを張りました。子どもたちがよじ登ると危ないので、農業者の方たちが、頑丈なネットに

してくれました。葉が茂ってネットを覆い尽くしたら、内外の温度をはかってみようと思

なで話しています。●子どもたちの反応は
小学校でもこうした講座を

企画した経験がありますが、小学生のうちには僕も私ともい

う感じでワーツと来ますが、中学生になると急に雰囲気が変わりますね。女子が多いと

男子は入りにくいとか。さすがだと思っただけは、講座の後で、温暖化で何が一番

深刻だと思つくと聞くと、伝染病や食糧危機と答えたり、地

場野菜とエコを結び付けて理解できたりと、その辺の深め



方は中学生だと感じます。反応といえば料理講習会はいつも人気で、7月のゴーヤのドライカレーも好評でした。ところが、一緒に試食したゴーヤジュースは子どもたちには苦すぎて不評。1回、1回が手さぐりですね。

●環境講座を通じて、子どもたちに伝えたいことは

食べることや物を買うことは、極めて個人的なことですが、それがさまざまな影響を

社会に与えていることを、知ってほしいですね。消費者が

買ひ物や料理の仕方を変えるだけで、「地球環境を守る」と

いった大きな課題にも取り組めることを伝えたいのです。

この企画の始まりは今年度から、アトムと立川市消費者団体連絡会(消団連)

で、「地域消費生活講座」を始めました。次代を担う子ども

たちに、もっと地球温暖化や消費生活のあり方について考

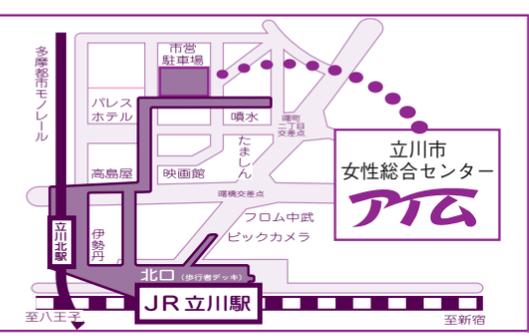
えてもらいたいと、中学生対象の講座を企画したのです。

でも、中学生は忙しく、アトムまで来てもらうのは難しい

ので、私たちが中学校に行つたほうがよいと、子どもが通

っている五中に企画を持ちかけました。五中には私自身、

P.T.Aや地域活動を通じてなじみがあり、学区内に協力してくる消団連の仲間もいました。消団連の支援と五中の



アトムインフォメーション

お問い合わせは、女性総合センター
☎042-528-6801へ。

男女共生系の事業 10月～3月

10月から平成21年3月までの男女共生係主催の事業をご紹介します。事業の実施時期、内容の詳細については、広報たちかわやチラシをご覧ください(表中㊦=市民企画活動事業)。

| 日程 | テーマ 企画・運営・共催 | 広報掲載 |
|--------------------------------------|--|--------|
| 10/1・8・15・22・29(水) 全5回10:00～12:00 | アトム キャリア・アップ スクール2008～自信のない「わたし」とサヨウナラ!「わたし」らしく生きる、働く | 8/25号 |
| 10/19、11/9(日) 13:30～16:00 | ㊦「ふつうの女性の足跡に学ぶ」 (第2回・第3回) 企画・運営/何知会(アトム登録団体) | 8/25号 |
| 11/5・12(水)全2回 13:30～15:30 | ㊦「裁判員制度って…女性の目で見てみよう」 企画・運営/グループゆうき(アトム登録団体) | 10/10号 |
| 11/23・30、12/7(日) 全3回13:30～15:30 | ㊦「女性のためのライフカウンセリングセミナー」 企画・運営/NPO法人ライプリー | 10/25号 |
| 11/29(土) 14:00開演 | ㊦「女性演奏家による現代音楽ピアノコンサート」 企画・運営/ウエル(アトム登録団体) | 10/10号 |
| 12/6、1/31、2/28(土) 全3回13:30～15:30 | ㊦「枕草子」原文を読む 企画・運営/読む会・立川支部(アトム登録団体) | 11/10号 |
| 12/7(日) 13:30～15:30 | ㊦「身体ほくして気持ちイキキ」 企画・運営/グループ「いーな」(アトム登録団体) | 11/10号 |
| 1/22(木) 10:00～12:00 | ㊦「楽しい似顔絵講座」 企画・運営/ウィンド(アトム登録団体) | 12/25号 |
| 1/24(土) 13:30～16:30 | 女性のための護身術「WEN-DO(ウェンドー)」 | 12/25号 |
| 2/14(土) 13:00～15:00(予定) | ㊦「ワーク・ライフ・バランスについてのワークショップ」 企画・運営/エンパワーズ(アトム登録団体) | 1/10号 |
| 3/1(日) 13:30～15:30(予定) | ㊦「女性のライフ・ステージと栄養の関係」 企画・運営/スウィング21(アトム登録団体) | 1/25号 |

消費生活センター係

もっとリユース、リサイクル

環境に配慮したぐらしを進めるためにアトムでは様々な事業を行っています

■ご利用ください《リサイクル情報》

資源の有効活用のため「不用品交換情報コーナー」をアトム5階に常設しています。

掲示してある《カード》の中から欲しいものが見つかったら、事務室でリサイクル品提供者の連絡先を確認し、ご本人同士で直接やり取りするシステムです。譲りたい方、譲ってほしい方は、女性総合センターまでご連絡ください。

《情報》は、アトム5階のほか、市役所1階ロビー、総合リサイクルセンター、市のホームページで公開しています。

なお、利用できるのは市内在住の方に限ります。くわしくは、消費生活センターへおたずねください。

■《フリーマーケット》にご来場を

約100店舗が出店(出店者の募集は終了)。雨天決行(屋根があります)。マイバッグをお持ちください。

10月19日(日)の午前10時～午後2時、会場は立川競輪場。立川フリーマーケット村実行委員会と共催。なお、駐車場はありません。立川市内で取れた野菜の販売も予定しています。

■《おもちゃの病院》でおもちゃを修理

壊れたおもちゃをベテランのドクターが修理します。対象は市内在住の方。1世帯2点まで、先着40点。

病院は偶数月の第4土曜日、午後1時～3時、女性総合センター5階テスト室で開設しています。壊れた部品もお持ちください。部品代がかかる場合は実費を負担していただきます。なお、直せない場合もあります。

後半の開設予定は10月25日、12月20日、2月21日。お知らせは、そのつど「広報たちかわ」で。

もっと知ろう、消費者被害!

■「消費生活相談事例集」(最新版)を無料配布

昨年度、立川市に寄せられた消費生活相談の中から、9件の被害の事例と対処法を紹介しています(A4判・28頁)。多重債務の相談窓口や、クーリングオフの書き方なども掲載。アトム5階や市役所受付、窓口サービスセンター、福祉会館、

地域学習館などで、無料で配布しています。ご利用ください。

■消費者被害未然防止パネル展

悪質商法の事例や対応策をイラストでわかりやすく展示します。各種パンフレットも無料配布。

①10月15日(水)～19日(日)の午前9時～午後7時、アトム1階ロビーで。

②10月28日(火)～31日(金)の午前9時～午後5時、市役所1階ロビーで。

平成20年度アトム編集委員会

今年度の情報紙「アトム」(No.22)は、次の編集委員の皆さんの企画・編集でお届けしました。

浅田理恵・鈴木洋子・高橋よしの・玉井公子
(助言者) 原和美

次号(No.23)は、平成21年3月10日発行予定です。

(敬称略)